

ラドン 222 を用いた駿河湾沿岸域における海底地下水湧出の実態把握 Evaluation of submarine groundwater discharge in Suruga Bay by using radon 222

小野 昌彦^{1*}; 丸井 敦尚¹
ONO, Masahiko^{1*}; MARUI, Atsunao¹

¹ 産業技術総合研究所

¹National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

沿岸域における海底地下水湧出 (SGD) は陸域から海域への重要な物質輸送経路であると考えられてきた。SGD は世界各地で研究が行われ、沿岸域では普遍的に存在する現象であると考えられている。

駿河湾は富士山の南麓に接し、透水性の高い溶岩流から成る堆積物とそれに伴う活発な地下水流動が存在している。そのため、駿河湾沿岸域においては多量の地下水の流入が考えられる。また、SGD が駿河湾沿岸域の水産物にも大きな影響を与えている可能性が考えられる。

本研究では駿河湾沿岸域における SGD の実態を把握するため、ラドン濃度の連続測定、試料水の採水と化学分析を実施した。本発表ではその結果について紹介を行う。

キーワード: ラドン 222, 海底地下水湧出, 駿河湾

Keywords: Rn-222, Submarine groundwater discharge, Suruga Bay